

児童センターの現状報告

★子育て支援で深める^わ話



子どもと遊べない保護者や子どもを注意できない保護者。育児にストレスを感じている保護者が児童センターでも見うけられます。そのため、親子で安心して遊べる場の提供や職員に気軽に相談できる関係作りを心がけるようにしています。また、児童センターに来館することで気分転換ができ、子どもを通じて保護者同士のコミュニケーションも深まるよう見守っています。

★健全育成講座で高めあ^わう我



子育て中の方、子育てに関わる方を対象に5回の連続講座。子育ての内容が中心ですが、身体を動かしてリフレッシュするものや趣味的な内容の講座もあります。

たくさんの応募があり、参加者の方は毎回、熱心に受講されています。今の自分より少しステップアップ（自己研鑽）させることを目標に、楽しみながら講座が受けられるよう企画を考えています。

わいわいわわ 話我和の輪

子ども

家庭

地域

子ども、家庭、地域が手をつなぎ、**和**を大切にし、大きな**輪**になるように!!

★遊びを通してつな^わがる和



子ども達が児童センターで楽しく過ごせるよう職員会議で話し合い、遊びの工夫を心掛けています。でも、せっかく児童センターに遊びに来てゲーム機、スマホが手放せない子、友だちより職員と関わりたい子など気になる子もいます。いろいろな子を見守りながら職員が仲立ちとなり、遊びを通し友達同士の**和がつながる**ことを願っています。好きな遊びがある、好きな友達がいる、話を聞いてくれる先生がいる、そんなセンターを目指しています。

★各種クラブ活動で広^わがる輪



体育・運動クラブ・キッズピクスなど運動中心のクラブがありますが、年々、身体の動きのぎこちない子が多くなってきています。身体を動かすことが好きになったり、その気持ちよさを味わえるよう、無理なく、取り組んでいます。また、おもしろクラブでは講師を招き、生活の中の身近な不思議をテーマにで取り組んでいます。

これらのクラブを通し、子ども達の“楽しい!” “おもしろい!” “やりたい!” の**気持ち**がどんどん広がることを願っています。



平成25年度 あじおか児童館
(ばるもあじおか)

5つの理念で運営
「遊ぶ楽しさを共に体験
友だちの輪を広げよう」



○サマーフェスティバル

① 地域ぐるみで育ち合う児童館

- ・地域で支え合う運営の仕組みの地域運営協議会の開催。
- ・地域サポーターによるイベント（サマーフェスティバル等）への支援。
- ・地域の協力による児童館だよりの回覧実施。
- ・地域のおやじの会、女性の会、更正保護女性会、子ども会との連携。



○更正保護女性会の子育て支援

② 多世代で育ち合う子育て支援

- ・親子でふれあう「えいごであそぼ」「がっきであそぼ」「リトミック」の開催。
- ・お母さん方の交流の場としての「ニコニコ」の開催。
- ・ベビーマッサージの開催。
- ・読み聞かせの「おはなし」や読み聞かせグループによる「とあそぼっ！」の開催。



○親子で楽しく「えいごであそぼ」

③ 中高生の集い使える児童館

- ・中学生19:00、高校生21:00までの学習室、音楽スタジオの利用。
- ・中学生ボランティア、サポーターのイベント等への参加・協力。
- ・ジュニア奉仕団による日常の児童館活動への協力。
- ・地域サポーターによるサマーナイトスクールの開催。



○サマーナイトスクール

④ 多文化共生できる児童館

- ・ポルトガル語やスペイン語の翻訳版児童館便りの発行。
- ・インターナショナル遊びの開催。
- ・ポルトガル教室の開催。



○まんじゅうづくり

⑤ 社会教育を担う児童館

- ・食育の展開としての「キッチンキッズ」や「まんじゅうづくり」の開催。
- ・地域の自然愛護の心を育む「ばるもあガーデンづくり」の開催。
- ・作って遊ぶ「クラフトルーム」の開催。
- ・中学校の「職業人体験学習」の受け入れ。
- ・ホームページによる情報発信。



○ばるもあガーデンづくり



平成 25 年度 しのおか児童館
5つの理念で運営
「児童館で遊ぼう・楽しもう」
「地域と共に育ち合う児童館」

1) 地域ぐるみで育ち合う児童館

- ・地域運営協議会が支える地域運営の仕組み。
- ・児童館まつり、夏まつり、もちつきなど、地域おやじの会によるサポート。
- ・篠岡小学校の校地を借りて、「きもだめし」の開催。
- ・桃ヶ丘小学校、篠岡小学校の総合学習への協力、連携。
- ・「篠岡たんけんカルタ展」の開催（共催：篠岡小学校 協力：篠岡中学校）

2) 多世代で育ち合う子育て支援

- ・毎月開催「えいごであそぼ」「楽器であそぼ」「アートであそぼ」「リトミック」
- ・毎週開催「赤ちゃんサロン」お母さんたちの交流の場。
- ・ベビーマッサージの開催。
- ・子育て相談員を配置し、子育て支援、相談業務を強化。

3) 中高生の集い使える児童館

- ・学習室の充実（新しい椅子の設置）。
- ・21 時までの夜間活用（中学生は 19:00 まで、高校生は 21:00 まで）
- ・篠岡中学校ジュニア奉仕団の活躍。
- ・児童館まつり、きもだめしの中学生ボランティア。
- ・篠岡中学校吹奏楽部のニューイヤーコンサート。

4) 多文化共生できる児童館

- ・ポルトガル語、スペイン語の翻訳版児童館だよりの発行。
- ・「インターナショナルあそび」の開催。

5) 社会教育を担う児童館

- ・食育の展開として、「キッチンキッズ」の開催（地域サポーター）。
- ・作ってあそぶ「クラフトルーム」の開催。
- ・館庭を使った「屋外あそびクラブ」の開催。
- ・父母クラブ主催の、「人形劇」の開催。
- ・毎月「コンサート」の開催。
- ・ホームページによる情報発信。
- ・地域の財産「篠岡たんけんカルタ」の紹介展示。

6) その他

- ・館庭を使った体力増進、集団指導の増加（ドッチボール、サッカー遊び等）。
- ・子育て支援室の授乳室設置、遊戯室床のフローリング化など、環境面の整備。



○各クラブで開催するクリスマス会



○子育て支援赤ちゃんサロン



○親子であそぼう企画 アートであそぼ



○地域サポーターによるキッチンキッズ



○小学校の総合的な学習への協力



○地域と連携した児童館まつりの開催



○毎月開催のサンデーコンサート

小牧児童館の現状報告

平成22年の開設から、「楽しく過ごしていただける居場所」「遊びを通しての仲間作り」を目標に取り組んできました。開館当初分かりづらい場所と言われておりましたが、ホームページはもとより道路に面して児童館の看板を設置、道路拡張から近くに信号機も付き、利用者の方にも足を運んでいただけるようになりました。

◎隣接する保育園との交流

イベント・行事には児童館を利用いただき、園児の元気な声が館内に響いてきます。ハロウィンには、母と子クラブの親子が保育園に出向き保育園の先生と交流を図ることができました。これを機会に引き続き連携を図るよう努めていきます。



◎子育て支援室の充実

毎週金曜日のちびっ子広場の他・木曜日のよちよち広場、また新しく増設した、月曜日のママぴよ広場と幼児の成長に合わせた、幅広い支援をし、母親同士の触れ合いの場、情報等の紹介を提供して、母親の信頼関係を大切にしながら、ニーズに応えられるよう日々話し合っています。



◎地域との取り組みについて

上新町、大新田、小牧原街道の区長様のご協力により、いつ起こりうるか分からない地震に備え、3区合同の消防訓練を実施することが出来ました。また、新年お楽しみ会に向けて、お茶に親しんでもらうよう地域のお茶の先生を講師として招き、子ども達にご指導していただきました。



◎小・中高校生との関わり

小学生は低学年の常連の子ども達が多く、高学年および中高生は部活や習い事で忙しいのか日によって利用が違います。興味や好奇心を持って体験できるよう遊びやもの作りを考えたことで長時間滞在する子ども達も増えました。また子供同士や職員とのかかわりも深まってきています。高校生の学習室への利用も浸透しつつあります。



これからも子ども達が楽しめる遊びや工作、また新しい講座や教室など取り組み「居心地のよい児童館」にしていきたいと考えています。

「安心してくつろげる場」、そして「また来たい」と思ってもらえる児童館を目指して！

・「心温かい児童館」を目標にそれに伴っての「4つの具体的行動」を心掛けながら進めてきました。25年度は【ニーズにあったイベント】【充実したクラブ活動】【相手に応じた対応】【興味を引く遊び（工作・遊具）の提供】【子育てサポート】等を中心に考えてきました。

1、【子育てサポート】で取り組んだ内容として

① 「おしゃべりサロン」（年2回実施）

・親の悩み困っていること等を職員とお母さん達で話し合う企画です。今年は形式を変え「お母さん達に紹介したいもの」に取り組みました。前半（9月）は伊藤ゆかり先生の「わらべうた」でした。美しく歌う事が大事なのではなく、ことある事に子どもとふれ合いながら歌うことだと教えて頂きました。後半（2月）は藤原真理子先生のカラーセラピーを実施します。「気になる色から今の気持ちを知る」をテーマにミニ講演会の形式です。

② 「相談活動」がしやすい環境（ムード）作りとサポート

・お母さん方の「悩み相談・知りたいこと」等を職員に「話しやすいしムード作り」に心掛けてきました。また、どの職員でも対応ができるように「職員間で内容の共有」や参加した研修報告をお互いが行い「スキルアップ」も行ってきました。

③ 「赤ちゃん訪問時でのチラシ配布」依頼

・保健センターに、小牧南児童館の「児童館紹介ちらし」を赤ちゃん訪問時に配布してもらいたいことをお願いをしました。

④ 「発達支援リトミック」（年2回実施 新企画）

・「支援が必要な親子に音楽療法を通して集団生活・ルールを身につけてもらおう」と始めた今年からのイベントです。対象年齢は、6才まで・小学1年～3年生までに分け実施しました。まだまだ定着していませんが、支援が必要な方にも児童館を利用してほしいと願っています。今後も継続イベントとしたいです。

2、【興味を引く遊び（工作）の提供】で取り組んだ内容として

① 「月別工作」の提供

・工作の変化がなかったことの反省から、今年は「月ごとの工作」を話し合ってきました。作り方、安全面、提供の仕方等全職員で検討し、以前からの工作も提供しつつ新しい工作を取り入れました。

② 「季節ごとの特別工作」の提供

・ハロウィン、クリスマス等の季節に応じその月は1週間ごとの工作を提供してきました。やはり季節の工作はその時しかできないこともありとても人気工作です。1週間ごとの提供であるため楽しみに来館してくれる子どもたくさんいました。



集まれ年中組

3、【ニーズにあったイベント】で取り組んだ内容として

① 【集まれ年中組】（月1回実施 対象年齢5才）

・5才児の定期的活動がないため企画した行事です。動くことが大好きなこども達は短い活動時間ですが大いに動き楽しんでくれました。

小牧市北里児童館の現状報告

◎ 遊びを通しての仲間作りを。地域との繋がりを大切に

- (1) 社会性の伸長
同年齢・異年齢集団遊びの支援
(様々なおもちゃの遊び方やゲームのルール等の説明)
クラブ活動の充実
(母と子、運動遊び、体育遊び、ハンドメイド、クッキング)
- (2) ふれあえる場の設定
交流しあえるイベントの企画
(夏祭り、父親と遊ぼう、ハロウィン、クリスマス会、新年お楽しみ会)
手作りによる遊具やゲームの提供
- (3) 子育て支援
子育て支援室でのニーズに対応
(保育図書コーナー設置、ベビーキープ設置、広場の開催時間の延長)
子育て関連の情報発信
(保育関係の市の取り組みの紹介、各種団体チラシの展示)
- (4) 地域連携
保育園、小中学校との関り
(保育園→園児の子育て支援室の団体利用)
(小学校→児童クラブの団体利用)
(中学校→ジュニア奉仕団の活動)
地域の団体との関り
(児童デイサービスNPO法人→団体利用)
館だよりによる情報発信
(保育園4園、小学校2校、中学校1校、子供会14団体)
母親クラブ役員と連携してイベント運営
学校行事の職員参観
(運動会、体育大会、学校公開、健全育成会議、学校評議委員会)



基本方針

1. 地域社会・行政教育機関と連携を図ります。
2. 次世代を担う子どもたちの健全育成を目指します。
3. 利用者の増加を目指します。
4. 安心・安全な施設管理に努めます。
5. コミュニティセンターとの協力体制、運営協議会との連携の維持に努めます。

施設開館から丸八年が経ちました。当初は「どこにあるの？」や「道順を教えてほしい」といった問い合わせも多くありましたが、9年目となる現在では小牧市在住の皆様をはじめ近隣の岩倉市、一宮市、江南市、大口町の方などにもご利用いただけるようになってきました。西部コミュニティセンター(ゆう友せいぶ)との複合施設であることから、センター運営協議会様にも様々な場面でお力添えを頂き、児童館行事を開催しております。

【 子育て支援 】

- 親子ふれあいの場
- 子育てに有益な情報提供や交換の場
- 保護者同士の友達作りの場
- 子どもも保護者もゆったりできる場

・ひよこ広場	週1回
・ちびっ子広場	週2回
・読み聞かせ	月2回
・リトミック	月1回
・ベビーマッサージ	年2回
・育児相談	年4回



【 クラブ活動 】

各クラブは登録会員制となっています。クッキングクラブは希望者が特に多く、3クラス体制で実施しています。今年度より利用者様の要望もあり年中児対象の「ボールあそびクラブ」を新設し、講師には地域在住の方をお願いしております。

・母と子クラブ	週1回
・ボール遊びクラブ	隔週2回
・運動あそびクラブ	週1回
・体育あそびクラブ	週1回
・クッキングクラブ	月1回
・お絵かきクラブ	月1回

児童館では年間を通じてたくさんの行事を計画実施しています。夏祭りやニューイヤーフエスタなどは地域の方にお手伝いをいただき、盛大な行事となっております。



新年度からは子育て支援室の拡充に伴い職員が増員となります。これからも地域の皆さまにご支援をいただきながら、安全で安心してご利用していただける児童館として全職員で努力してまいります。



平成 25 年度 大城児童館・笑童館・わらべかん

5つの理念で運営

「地域みんなで、楽しさのシェアリング」



わらべかん外観

1) 地域ぐるみで育ち合う児童館

- ・地域運営協議会は、地域で支え合う地域運営の仕組み。
- ・地域サポーターによる、イベントスタッフとしての運営支援。
- ・1月のおもちつきは、地域サポーターに助けられみんなで楽しむ。
- ・児童館まつりは、地域も中高生も一緒になれる実行委員会方式で開催。



父母クラブ主催による人形劇

2) 多世代で育ち合う子育て支援

- ・毎月開催 「リトミック」。リズムによる子育て支援。
- ・毎月開催 「わらべかんのえいごであそぼ」。
- ・毎月開催 「楽器であそぼ」、「アートであそぼ」。
- ・隔週開催 「赤ちゃんサロン」。
- ・毎月開催 「ベビーマッサージ」。
- ・毎月開催 「レッツダンス」親子で踊る。



セタコンサートの様子

3) 中高生が集い使える児童館

- ・高校生は 21:00 まで、中学生は 19:00 まで、学習室・音楽室の利用。
- ・ジュニア奉仕団サポータースタッフ・中学生講師として活躍。
- ・中学校吹奏楽部と民間バンドとのご一緒クリスマスコンサート。
- ・地域のイベントに参画「バンブーロックフェス」へ中高生参加。
- ・音楽室利用促進「ドラム教室」開催。



親子で作ってあそぼう「アートであそぼ」

4) 多文化共生できる児童館

- ・ポルトガル語 ス페인語の児童館便り翻訳版発行。
- ・毎月開催「インターナショナルあそび」開催。
- ・毎週開催「ポルトガル語教室」開催。



インターナショナルあそびハロウィンパーティー

5) 社会教育を担う児童館

- ・食育の展開、キッチンキッズの定期開催。
- ・「えいごであそぼ」ハロウィンパーティーの開催。
- ・父母クラブ主催の人形劇による交流会の開催。
- ・世代を超える音楽の世界、夜の児童館活用コンサート開催。
- ・夜間遊戯室の地域サークルによる有効活用。
- ・独自のホームページでわらべかん物語の履歴を発信。



地域のイベントに参画・バンブーロックフェス

その他)

- ・前年比同等の利用者で、1日平均 219.4 人 (12月末時点)。(昨年 219.3 人)



地域サポーターとおもちつきの様子



親子で踊れるレッツダンス



夕涼みコンサートの開催



みんなで一緒にクリスマスコンサート